

塩原自然研究路：大沼周回ルート

行程：2～3 km

所要時間：60～105 分（周回）

最寄りのバス停：

- 直行バスなし。周回コースの 2 つの起点である新湯温泉神社と大沼公園は、どちらも塩原温泉バスターミナルからタクシーで約 20 分のところにある。両方とも駐車場がある。

コース概要：

塩原自然研究路は、1958 年に日本政府により指定された、第一号の自然研究路である。全長 8 キロメートルのハイキングコースは、塩原温泉ビジターセンターと新湯温泉神社を結んでいる。コースの最後の部分である大沼周回ルートは、新湯温泉神社から大沼を周回して戻るルートである。

見どころ：

新湯富士山（新湯富士ルート）

富士山溶岩ドーム（1,184 m）は、およそ 6,500 年前に前黒山（1,678 m）の側面の亀裂から溶岩が噴出して形成された。山頂には原生林があり、ナラ、ブナの木やシダの藪が生えている。

ヨシ沼（ヨシ沼ルート）

ヨシ沼がある場所は、なだらかな山の斜面に囲まれ、草で覆われた沼地である。車椅子での通行が可能な木道歩道（0.8 km）が沼地を一周している。保護指定種の植物や動物があたり一帯に見られ、それらの保護のため、指定された歩道ルートから外れることは禁止されている。

大沼

大沼として知られる湿地保護区は、2 つの区域に分かれている。1 つは沼地であり、もう 1 つは湖である。この場所には、体長わずか 2 センチメートルの日本一小さいトンボであるハッチョウトンボなどの珍しい野生生物が生息している。保護指定種であるモ

リアオガエルも近くの森に住んでいる。モリアオガエルは、湖上の木の枝から垂れ下がる泡のかたまりに産卵する。卵が孵化した後、オタマジャクシが下の水の中に落ちる。車椅子で通行可能な 1.8 キロメートルの木道歩道が湖と沼地のまわりに設置されている。